

令和6年度第8回合同教育研究会議議事概要

1 開催日時

令和6年12月11日 13時00分～13時25分

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、高橋副学長兼教育支援本部長兼教学IRセンター長、
亀田副学長兼研究・地域連携本部長、鈴木副学長兼事務局長、
三上学生支援本部長、猪股企画本部長、高橋高等教育推進センター長、
工藤看護学部長、中谷社会福祉学部長、高田ソフトウェア情報学部長、
Tee総合政策学部長、川崎盛岡短期大学部長、田中宮古短期大学部長、
宮本委員（学外委員：岩手大学人文社会科学部教授）、
永富委員（学外委員：東北大学産学連携機構特任教授）

[オブザーバー]

米内事務局次長兼総務室長、加藤教育支援室長、松崎学生支援室長、
藤村研究・地域連携室長、佐藤企画室長

[事務局]

森主幹、伊藤主任主査

4 会議の概要

議事録確認

前回会議11月13日の議事録（議事概要）については、原案のとおり承認された。

審議事項

なし

協議事項

なし

報告事項（口頭報告）

(1) 国際交流協定等の更新について

高橋教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。

(2) FD・SD セミナー「大学における合理的配慮提供の義務化への対応」の開催について

三上学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。

委員から、学生から合理的配慮や支援の希望があった場合、授業を担当している教員や次年度担当する教員にまで情報が伝わるよう、学科やコースで情報を共有したほうがよいとの発言があった。これに対し、三上学生支援室長から、学生から支援等の希望があった場合は、学生支援の担当者が学生と面談を重ねて丁寧に聞

き取りを行っていること、情報の共有については学生支援本部内で検討するとの発言があった。

(3) 令和7年度地域協働研究の公募について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

委員から、これまでの研究数について質問があり、亀田研究・地域連携本部長から、年間40件程度であるとの回答があった。

委員から、応募前の段階で地域から相談を受けるような体制はあるかとの質問があり、亀田研究・地域連携本部長から、コーディネーターが自治体を回って説明会を行っており、その中で相談を受けているとの回答があった。

委員から、地域協働研究に学生が参画するような取組はあるかとの質問があり、亀田研究・地域連携本部長から、地域協働研究を進める教員のゼミの学生と一緒に活動しているケースがあるとの回答があった。

(4) 令和6年度業務実績の自己点検・評価の実施及び令和7年度計画の策定について

猪股企画本部長から、資料に基づき説明があった。

(5) 令和6年度ハラスメント防止対策研修会の受講率について

米内事務局次長兼総務室長から、資料に基づき説明があった。

委員から、ハラスメントについて組織内で共通した危機意識を持つために、学生から申立てのあった事案については、ハラスメントに該当しない事案も含めて、プライバシーに配慮した上で組織内で情報を共有したほうがよいとの発言があった。

学長から、ハラスメントの申立てへの対応は大変な労力がかかることから、特に初期段階の対応は、外部の専門家に委託してはどうかとの発言があった。

報告事項（資料報告）

- (1) 「2024年いわて高校生学び応援プロジェクト 小論文コンクール」審査結果について
- (2) 令和7年度総合型選抜結果について
- (3) 令和7年度編入学試験入学手続結果について
- (4) 令和6年度岩手県立大学大学祭(鷺風祭2024)の開催結果について
- (5) 令和6年度公開講座・滝沢キャンパス講座の開催結果について
- (6) 令和6年度公開講座・宮古キャンパス講座の開催結果について
- (7) 令和6年度地区講座(滝沢市睦大学との連携講座)の開催結果について
- (8) 令和6年度防災訓練等の実施結果について
- (9) 令和6年度第2回安否確認システム報告訓練の実施結果について
- (10) 令和6年度第1回ハラスメント防止対策研修会の質疑応答等の要旨について
- (11) 令和6年度第3回オープンキャンパス(宮古キャンパス)の開催結果について

その他

なし